

科学の甲子園県予選 松本秀峰が総合優勝

松本 高校生が科学の
知識や技能を競う

「科学の甲子園」（科学技術振興機構主催）の県予選が信州大で行われ、松本秀峰中等教育学校が初の総合優勝を果たした。来年3月に茨城県つくば市で開かれる全国大会に出場する。

全国大会に出場するのは、中高一貫校の同校で、高校2年に相当する5年の男子生徒8人。県予選は今年12日に9校19チームが出場して行われ、理数系

「科学の甲子園」全国大会へ出場する松本秀峰中等教育学校の生徒たち



科目の筆記課題や物理・生物分野の実技競技で競った。松本秀峰チームは数学、情報、地学などで1位となり、初めてとなる全国大会出場を決めた。メンバーの上嶋優太さん(17)は「それぞれがさらにレベルを高め、全国大会に臨みたい」と話した。